

県政報告会&意見交換会 (11月10日)

第一部は能登視察の報告を中心に行い、第二部では、参加された皆様方で「あなたが埼玉県知事だったらどこにお金をかける？」と題してグループワークをやっていただきました。

教育や給食の無償化など子育て、介護、渋滞対策や公共交通、医師・看護師確保などの意見は多数あった一方、「公営団地を整備して一人暮らしの方が住むまちをつくる」、「18歳で選挙権を得たら市議会・県議会に見学に来てもらう」など面白いアイデアもあり、私もとても勉強になりました。

当事者の目線で政治参加をしていただけるこの手法は主権者教育でも取り入れられています。引き続き様々なご意見を伺う機会を作っていきたいと思います。

あなたが埼玉県知事だったら
どこに予算をかける？



意見交換会

来年度の予算要望を知事へ



毎年8月から9月は、様々な団体から来年度の予算に関する要望を直接ヒアリングし、書面でいただいています。この夏は50団体から予算要望を受け、会派からの要望とともに10月16日に知事へ手渡しました。建設関係、医療福祉関係、土業関係、環境関係、農業畜産関係など多岐にわたる団体から現状を伺い、人手不足、円安による原材料高が大きな困難となっていることがよく伝わってきました。

会派要望でも公共交通の充実やDXを活用した教職員の多忙解消、県庁舎再整備に関してなど8分野172項目を要望しています。回答は2月定例会でいただく予定です。

次世代育成 (高校生インターン受け入れ)

今年の夏は、「政治家体験」をする男子高校生3名をインターンとして受け入れました。空き家対策や防災、中小企業支援と各々興味のある政策課題があったので、行政や団体による取組みをヒアリングし、現場を知ってもらうことに努め、日頃私がどのように動いているのか体験してもらいました。また、住民の方からの陳情を共に受けたり、社会課題を解決する団体や経済学者の先生から話を伺うなど盛沢山のプログラムを組みました。

将来議員になることを目指している高校生もいたので、大切な志をじっくり温めて欲しいと思いますし、少しでもお役に立てていれば嬉しいことです。

彼らの感想 (抜粋)

今まで「あやふやだった政治家のイメージがとても明るいものになった。機会がいつになるかわからないが、いつか何らかの形で政治に関わりたい。

当事者的な視点からの提案など、住民と役所の中間的な存在になっている議員だからこそできる、人々の実情に寄り添った活動があることに気付かされた。

自分の社会経験不足や、知識が自分の興味関心に偏っていて、詳しく知らないことにバイアスを持ってしまっていることにも気づかされた。幅広い分野で知識を集め、可能であれば直接経験することが必要だと感じた。



さいたま市役所で空き家対策についてヒアリング



地域の方からの陳情では現場を見て、直接お話を伺う大切さを伝えました



議会局の職員さんが議場見学ツアーを